

Message memo

- ◇タイトル ザアカイが救われた
- ◇聖書箇所 ルカ19章1節～10節
- ◇メッセージ 西村内弘師
- ◇中心聖句 ルカ19章9節～10節

9: イエスは、彼に言われた。「きょう、救いがこの家に来ました。この人もアブラハムの子なのですから。10: 人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです。」

攻 WE WILL GO

そのとき、カレブがモーゼの前で、民を静めて言った。「私たちはぜひとも、上って行って、そこを占領しよう。必ずそれができるから。」（民数記 13:30）

Vol.36-34
2020.8.23

コロナを乗り越える！～Jesus Family 先週の活動～

◆8月18日～21日 ぶっとび オンライン ユースキャンプ

今年は夏のユースキャンプもオンラインで開催しました！コロナ対策のため、撮影スタッフと参加者を合わせて38名と少人数のキャンプでしたが、聖山高原チャペルでのびと自然に触れ、聖書に親しむ素晴らしいキャンプとなりました！



オンラインで恵まれるドラマバイブルとバイブルスタディー



スペシャル講師『G&M 文化財団』理事長のムン先生と



フリータイムは外でのびのびと遊びます！



夜は賛美とメッセージで心燃やされます！

<Vision> 聖書を土台に若者を育て、世界にリーダーを送り出す教会

JESUS FAMILY CHURCH (ジーザス・ファミリー・チャーチ)

ビジョンセンター 東京都町田市三輪町 392 TEL:044-385-2964 URL:www.jesusfamily.jp E-mail: info@jesusfamily.jp

みどり野チャペル 横浜市青葉区すすき野 2-6-16 TEL 045-902-7898

今こそ信仰・希望・愛に生きる時！ ～感謝の証し～

●H.Tさんの証し

キッズのデリバリーチャーチが始まって、毎回小学生スタッフとして撮影などで活躍しているH君とK君。H君は今週のデリバリーチャーチで、K君はオンラインユースキャンプの希望先生のメッセージで、それぞれ洗礼を受ける決心をすることができました！オンラインの集会においても神様が奇跡を見せて下さっています！ハレルヤ！



溢れるばかりの祝福をあなたに ～什一献金の恵み～

【什一献金ってなあに？ まとめ】

什分の一の主な教えは、旧約の中に見ることができるのですが、モーセに与えられた律法のもっと以前から始まったものです。私たちが什一献金を捧げる必要のある6つの理由は、

- ①神様がそれは自分のものであるといわれているから。
- ②什一献金は神様を礼拝する一形式である。
- ③什一献金は神様の働きを支えるための一つの方法である。
- ④あなたが什一献金を捧げることで、祝福を約束され、あなたから財政的な呪いを取り除かれる。
- ⑤什一献金は神様が全ての源であることを継続して思い出させてくれるものである。
- ⑥什一献金は自己中心、貪欲、物質主義などに対抗するものである。

“十分の一をことごとく、宝物倉に携えて来て、わたしの家の食物とせよ。こうしてわたしをためしてみよ。——万軍の主は仰せられる。——わたしがあなたがたのために、天の窓を開き、あふれるばかりの祝福をあなたがたに注ぐかどうかをためしてみよ。”(マラキ3章10節)

EVENTS

- ◆8月23日(日) 午後1時30分～ オンライン洗礼準備会
- ◆8月30日(日) ユース洗礼式
- ◆9月18日(金)～21日(祝) ファミリーキャンプ
- ◆10月 成人洗礼式
- ◆11月3日(祝) ジョイジョイキッズ&ファミリーフェスティバル、ジョイフェスユース

Information

【祝福宣言カードプレゼント】

Jesus Family Church 祝福宣言のポストカードを、応募して下さった方全員にプレゼント！

◆応募方法：メールまたはお電話にてご応募ください。

Mail→info@jesusfamily.jp TEL→044-385-2964

◆記入内容：①お名前 ②必要な枚数(お1人様3枚まで) ③住所 ④電話番号

【献金お振込先】

◆礼拝・什一・感謝・オンライン機材献金

金融機関名：三井住友銀行 支店名：あざみ野支店 口座種別：普通
口座番号：6730043 口座名義：ジーザス・ファミリー・チャーチ

祝福タイムズ

妹のお別れ会・葬儀を経て

牧師 山根 静

闘病中のときから、妹のためにお祈りいただき感謝します。多くの人に愛されてきた妹でした。

8月10日に36歳にて生涯を閉じました。4年間の闘病生活を「本当によくやってきた」、「本当にお疲れ様！天国でゆっくりしてね」と、イエス様が「わたしのところに来なさい。わたしがあなたを休ませてあげよう」というみことばが祈りの中で導かれ、眠るように苦しまずに息を引き取りました。

妹の携帯のメモ帳には「やりたいことリスト」があり、希望がいっぱいでした。病院側が手を尽くした状態でも、自ら学び新たな治療法を探してはチャレンジしていました。体は辛い状態でも明るく、いつでも前向きで、ポジティブでした。もともと明るい妹でしたが、前向きに生きる姿や笑顔は、たくさんの人や家族を照らしてくれていました。ご主人も「春佳はみんなの太陽だった」とコメントを残しました。娘(姪っ子)の小4の美咲がそれを知って「美咲が第2のはるちゃんになる！」と宣言し、家族のきずなが更に強まったと思いました。

妹は入退院を繰り返す中で、家にいられる時は家族と過ごす時間を大切にしていました。子どもたちにお手伝いを細かくさせて、家のことを教えていたのは、わが子が困ってしまわぬようにという親心からだったなと思います。「ママ」や「お母さん」ではなく「はるちゃん」と呼ばれ、母親でありながら時には友だちのように子どもたちとよく笑いあっていました。

8月15日(土)にお別れ会をしました。本人の希望で通夜はしないでほしいと。いつも明るかったので、友達も大勢いました。写真をたくさん並べ、妹らしいお別れ会となったのではないかなと思います。100人以上の方が足を運んでくださり、かつて教会の学童保育や教会学校、キッズハウス等にきていたお友だちにも会うことができました。妹がまた引き合わせてくれたと思います。翌日、家族葬という形で葬儀となりました。これからお母さんがいない困難があるかと思いますが、闘病生活のときから培われた助け合い精神が家族に残されているので大丈夫だと思います。妹を見習って、前向きに明るく進んでいくと思いません。教会の励ましと祈りに心から感謝します。

